

国際学会におけるダイバーシティ & インクルージョン -IEEE WIE の活動を通じて-

橋本 隆子

千葉商科大学 副学長、商経学部 教授
IEEE Japan Council Chair (2021-22)
IEEE Computer Society Board of Governors (2021-23)
IEEE Women in Engineering Chair (2015-16)

自己紹介 – 橋本 隆子

- 千葉商科大学 副学長、商経学部教授
- お茶の水女子大学理学部卒業後、(株) リコーのエンジニアを経て現職
- 博士(工学) 筑波大学大学院システム情報工学研究科
- UCLA 客員研究員 (2015)

- 総務省国立研究開発法人審議会専門委員
- 日本学術会議連携委員 (情報学、環境知能分科会幹事)
- 日本データベース学会理事 (男女共同参画、ハラスメント対策担当)
- 情報処理学会フェローなど

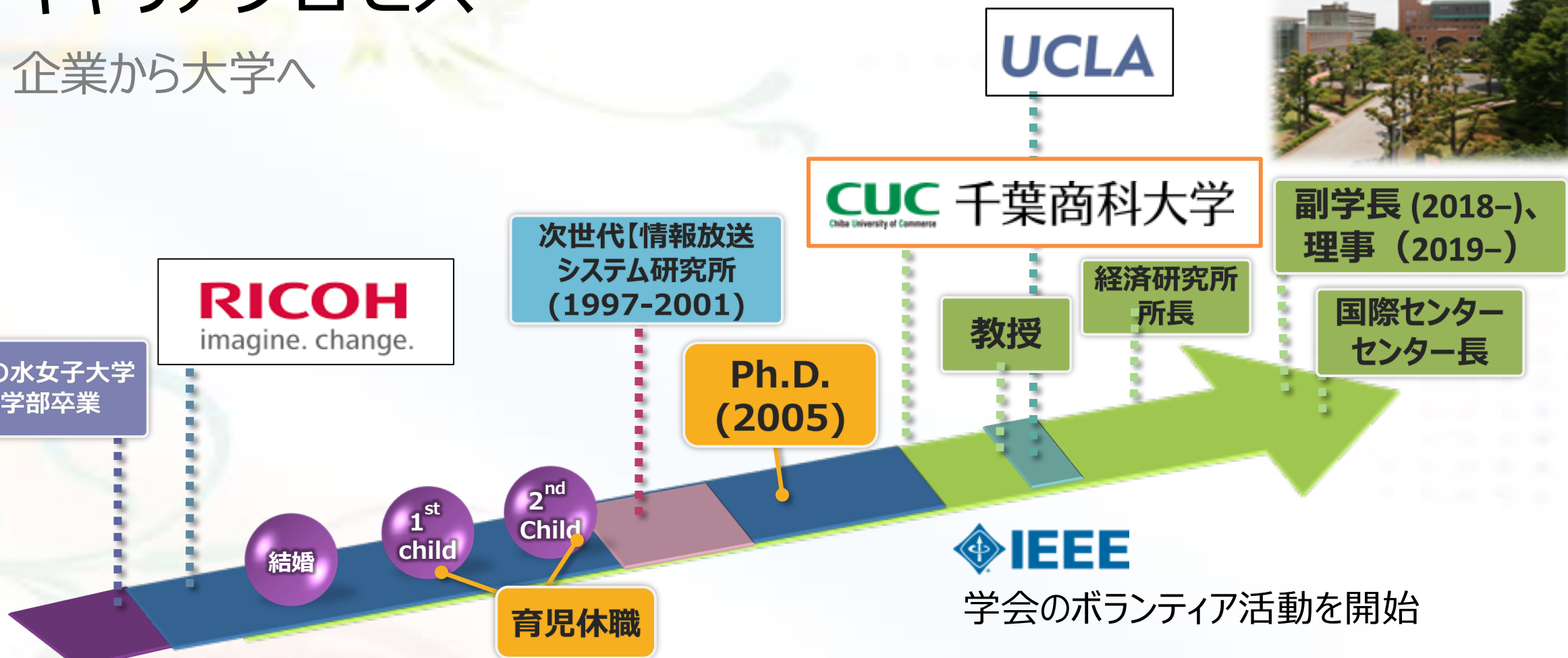
- IEEE Japan Council 会長 (2021-22)
- IEEE Computer Society Board of Governor (2021-23)
- R10 (Asia Pacific) セクレタリ (2019-)
- Women In Engineering 会長 (2015-16)
- R10 Women In Engineering コーディネータ (2011-2014)
- 2019 IEEE MGA Larry K. Wilson Transnational Award



プライベートでは
夫、息子 (29歳)、
娘 (25歳)

キャリアプロセス

企業から大学へ



1人目：7ヶ月 ⇨ 現在29歳
2人目：15ヶ月 ⇨ 現在25歳

IEEE at a Glance

The world's largest technical professional organization for the advancement of technology.

Our Global Reach

400,000+
Members



46
Technical Societies and
Councils



160+
Countries



Our Technical Breadth

1,600+
Annual Conferences



4,800,000+
Technical Documents



190+
Top-cited Periodicals



IEEE Regions

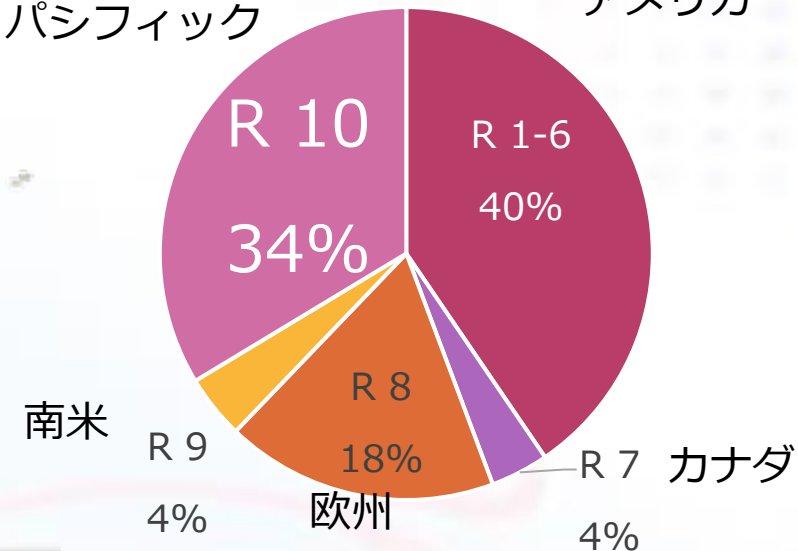
アメリカ以外では、アジアパシフィックが最大のRegion



Geographic IEEE Membership Summary Dec. 2020

アジア
パシフィック

アメリカ



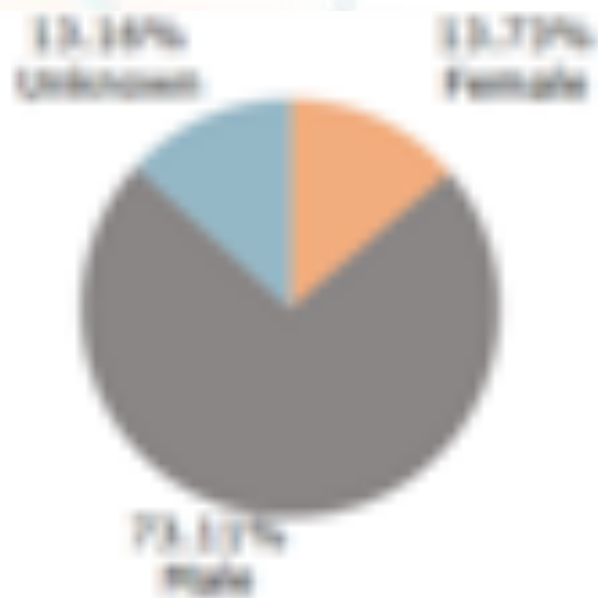
IEEE における Gender

- 女性会員の比率

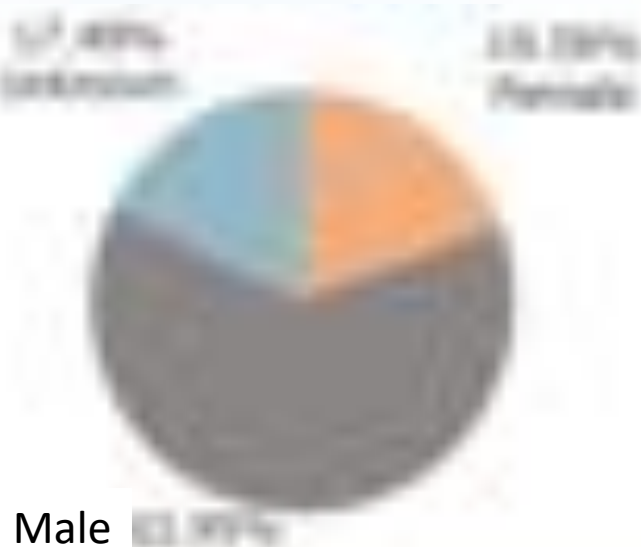
- 世界：女性 14%、男性 73%、その他 13%
- AP：女性 20%、男性 63%、その他 17%
- 日本：女性 4%、男性 84%、その他 12%

日本は、女性会員の比率が小さい

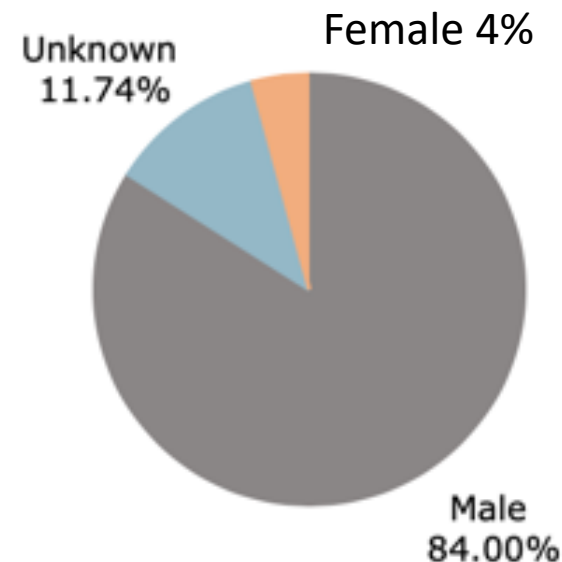
Count by Gender (World)



Count by Gender (アジアパシフィック)



Count by Gender (Japan)



IEEEの意思決定機関における女性

- IEEE BoD - IEEEの最高決定会議（理事会）
 - President, VP, 各地域の代表、各技術エリアの代表など
 - 32名（女性9名、約28%）
- IEEE BoG – 各技術ソサエティごとの理事会
 - 例：Computer Society
29名（女性13名、約 45%）
 - 毎年選挙によって選ばれる（原則3年任期）



Jyotika
Athavale

2021-2023 Board
of Governors



Terry Benzel

2021-2023 Board
of Governors



Takako
Hashimoto

2021-2023 Board
of Governors



Irene Pazos
Viana

2021-2023 Board
of Governors



Annette Reilly

2021-2023 Board
of Governors



Deborah
Silver

2021-2023 Board
of Governors

2020年の選挙では、18人の立候補者のうち、
6名が選出。すべて女性！

IEEE Award 受賞者における女性



- IEEE Medal、Recognition、Technical Field Award
 - IEEEで最も権威ある賞
 - 技術、社会、技術者に永続的な影響を与え、卓越した業績と顕著な貢献をした個人・団体に授与
- IEEE Medal: 19名受賞者（女性5名）
- IEEE Recognition: 6名受賞者（女性2名）
- Technical Field Award: 32名受賞者（女性4名）
- 25-30%が女性 ← 以前に比べると増加
- 日本女性の受賞者はまだない



IEEE Women in Engineering

- IEEEにおける女性技術者支援のグローバルネットワーク
- STEM分野における女性のキャリア形成支援、Visibility 向上
- 次世代（特に女子学生）がSTEMに興味を持ち、キャリアとして選択することを奨励
- 1994年からIEEE内の委員会として活動
- 理事会やAwardへのノミネーション支援、メンタリング活動、奨学金など



Connect



Support



Inspire

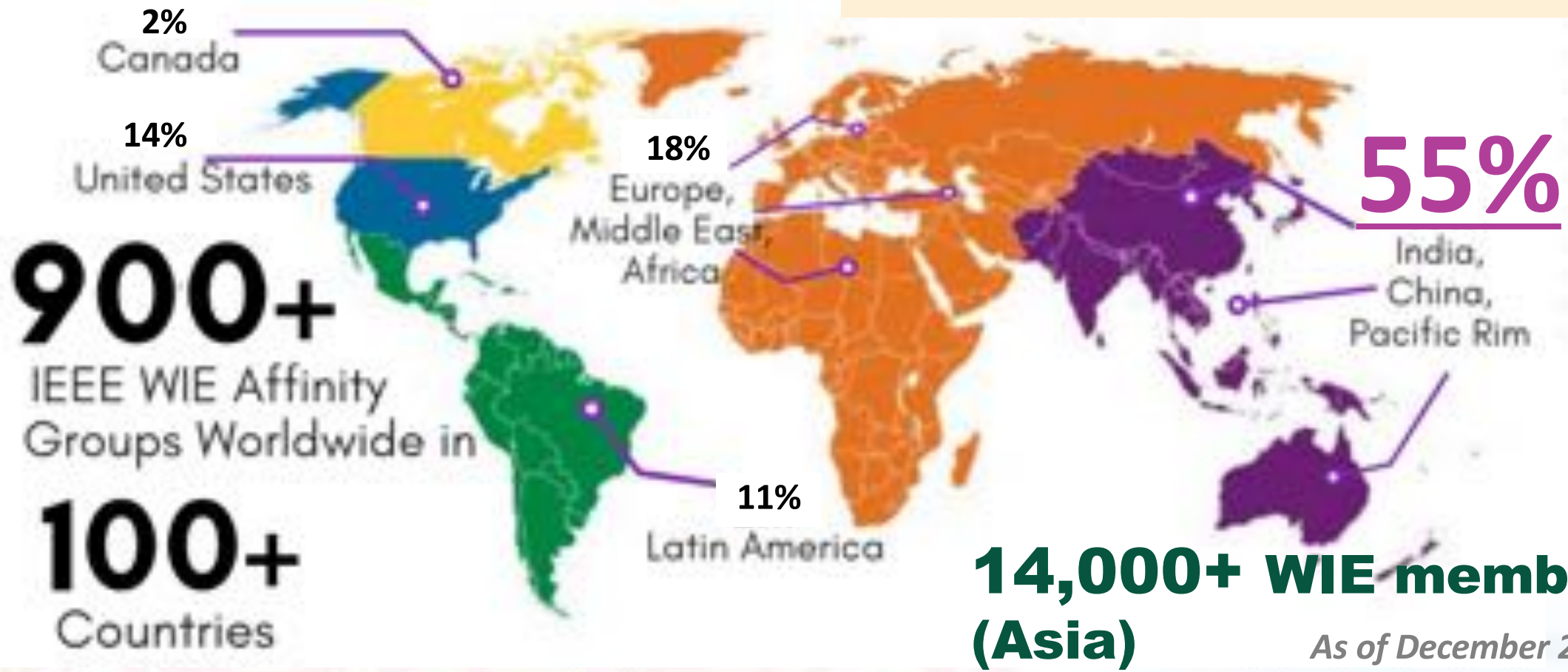


WIE Membership by Region

25,000+ Members



アジアにおけるWIE活動は非常に活発



IEEE R10 WIE Activities



R10 SYWL Virtual Congress

Students, Young Professional, Women in Engineering and Life Members Congress



Registered participants 1300+
LiveStream audience 10,000+



WIE International Leadership Summit

Regional opportunities to foster networking, mentorship, and collaboration.



WIE Visibility Enhancement through R10 Events Program

Special WIE Track at R10 flagship Conference (TENSYP/TENCON)



アジアにおけるWIE

- 圧倒的な存在感を示す
 - ⇒ インド、マレーシア、インドネシア
- 工学系学部的女子学生数が多い
- 経済発展、社会変革、意識変容
- 共通の課題
 - 子育て
 - 親の介護
 - Glass Ceiling
- 個別課題
 - 階級格差



日本のWIE

- 2005年5月設立
 - 国内初のWIEとして、Japan Councilの下に設立
 - 国内のWIE活動を牽引
 - 初代会長 黒田道子先生（東京工科大）
 - 顧問 西原明法先生（東京工業大）
- 女性技術者・研究者のネットワーク構築や、キャリアアップの支援となるよう、様々なイベントを開催
- IEEE内外の団体との連携 ⇨ グローバル活動
- IEEE内：SB、YP、LMAG、海外のWIE
- IEEE外：内閣府男女共同参画局、国内諸大学の男女共同参画や女性研究者支援を推進する部門



国内のWIE

日本国内全体のWIE会員数 142人

Sapporo (13) 2007年設立



Kansai (27) 2014年設立

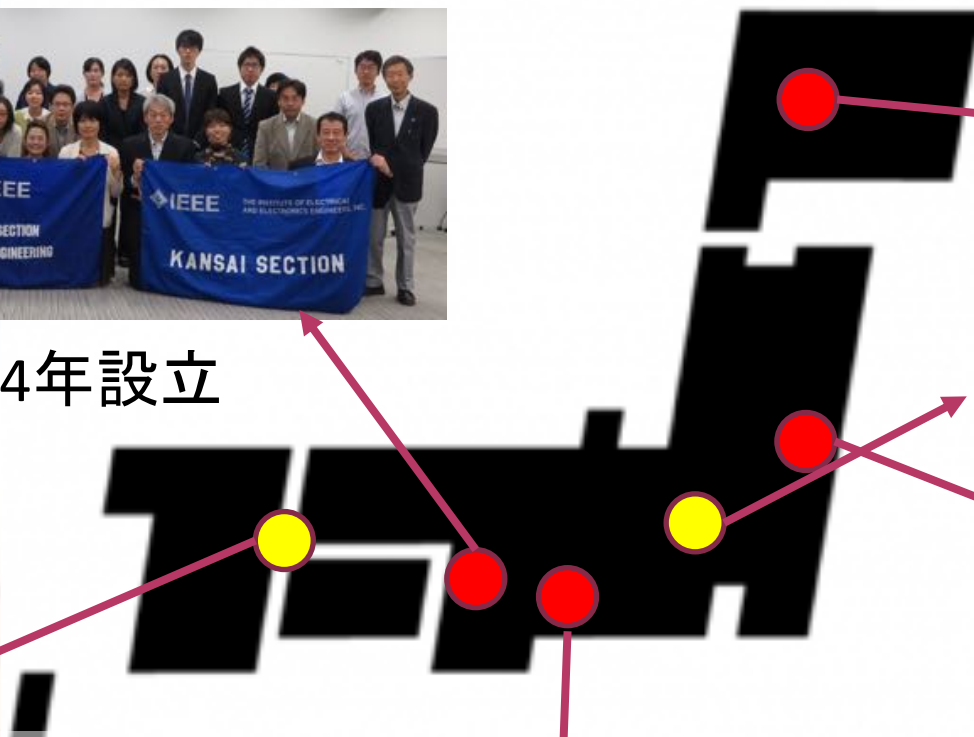
Tokyo/Shinnetsu (63) 2020年設立

Sendai (19) 2017年設立



Shikoku/Fukuoka/Hiroshima
(11) 2020年設立

Nagoya (9) 2019年設立



Global networking



女性技術者・研究者としての働き方

- キャリアの中断がしにくい社会（特に欧米に比べて）
 - 退職、育休などが不利に働く傾向
 - 「年齢」にとらわれがち
 - いろいろなことを犠牲にして頑張って仕事を続けることが尊い？
- ライフイベントに応じて選択する
 - 順位をつけるだけでなく選ぶ、捨てる
 - 多様な生き方を尊重する
- 復帰しやすい社会にする
 - 子育てのために仕事を数年休む ⇨ 正規雇用として復帰する
 - 教育支援システムの充実も必要

まとめ – 国際学会の活動を通じた ダイバーシティとインクルージョン

- 多様な人々との活動による学び
 - 海外に比べ、日本はまだ内向き
 - 言葉の壁、意識の壁、文化の壁
 - 体力が必要 ⇨ 空間は超えられても、時差は超えられない
- 情報学への期待
 - 情報学を活用しなければ、生きていけない時代
 - 情報学はコミュニティの属性の多様化には貢献しているが、考えや行動の多様性には貢献できていない
 - ダイバーシティとインクルージョンを情報学で実現したい



Thank You!

takako@cuc.ac.jp